

ここひろ青梅

東京都青梅市東青梅 4-1 7-4 2 柚木沢ビル 1F
TEL: 0428-23-8220

地域ケアサポート館 福わ家・小規模多機能ホーム
東京都青梅市藤橋 2-6 1 4-1 8
TEL: 0428-30-0512

地域ケアサポート館 福わ家・グループホーム
(認知症対応型共同生活介護)
東京都青梅市藤橋 2-6 1 4-6
TEL: 0428-78-2100

地域ケアサポート館 福ら笑(ふらわー)
小規模多機能ホーム・グループホーム
東京都羽村市川崎 1-7-8
TEL: 042-555-6678



ここひろ 通信

ここひろば (来い方ゆく来)

心のひろばは 2000 年に誕生しました。
時の流れに身を任せ、気がついたらもう 18 年
という歳月が流れている。すごいなあよく

頑張ったなあとも思えますが、私たちは社名に恥じず、
たくさんの心を集わせ、素晴らしいひろばとすることができたのだろうか、
自問自答を繰り返しております。

29 歳で有限会社心のひろばを起業した私も、今年で 47 歳となりました。
おかげさまで今のところ大きな健康上の問題もなく充実した毎日を送ってい
ます。しかしそんな私がこれから病気や障がい、また日本の高齢社会の大き
なテーマともなっている“認知症”をもつことになるかもしれません。

国は言います、地域包括ケアシステムのキーワードとして“我がこと丸ご
と”と。しかし認知症を我がこととして捉えることはそう容易な話ではあり
ません。なぜならば人は経験したものにしかわからない痛みというものがある
からです。人の痛みを理解し我がこととして捉え、和らげるためには、や
はり“心のひろば”が大切であろうと思うのです。

このニュースレターが、お読みいただく皆様の気持ちに寄り添ったもので、
かつ心のひろばに集まるきっかけとなることを期待します。皆様どうぞ温か
い目で見守っていただけたらと思います。

井上信太郎

介護保険のあいうえお

介護保険
にかかる

ひ費用(財源)
の話です。

利用者様が負担する 1 割(所得により 2 割、3 割)を除く残
りは、公費(税金)と介護保険の被保険者(40 歳以上)が
納める保険料で賄われています。

公費の半分は国、残りの半分を都道府県と市町村が 1/4 ず
つ負担しています。ほとんどが大切な税金です。必要な時に
必要なサービスを利用し、元気で暮らしていきたいですね。



ひろっぴーからの手紙

福祉用具展示会を行いました!

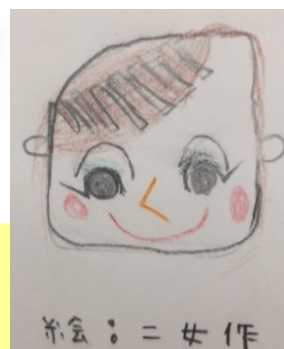
10月14日(日)若草会館をお借りして福祉用具展示会を行いました。たくさんの方々に、用具を触ったり操作したりして頂きました。今後も展示会を行う予定ですので、お近くで開催の際にはぜひ足をお運び下さい。



今月の全体会は、介護職として、介護サービスを提供するために、様々な法令を厳守する必要性について学びました。虐待防止法、感染症法、利用者様やご家族の大事な個人情報を守るための個人情報保護法など。どれも大切で重要な法令だと再確認しました。



スカーフ紹介 ゆめもち



福わ家に勤めている黒澤未来です。
今回は私の家族について話したいと思います。

今月6日、私の妹が3666gの女の子を出産しました。私もついに叔母になりました...

ちょっと悲しみもありましたが、無事に産まれたことにホッとしました。母は初孫だからか、ほぼ毎日会いに行っています。ちなみに私はまだ1度も会いに行っていない。(笑) 名前は柚月(ゆづき)だそうです。元気にすくすくと育ってくれたらいいなと思います。また自分の子供ではないけど成長がとても楽しみです!

皆様、初めまして。

6月から心のひろば

本部で勤務をしております原島と申します。以前は病院で事務の仕事をしていましたが結婚を機に退職をして埼玉県から青梅市へ引越しをして、早10年が経ちました。

現在は10歳の長女、6歳の二女、3歳の長男の子供3人と絶賛ダイエット中の主人との5人で毎日騒がしいながらも楽しく暮らしています。仕事をしながら家事・育児は大変なときもありますが、頑張りすぎずにマイペースを心掛けています。

私も主人も野球が好きで将来は、長男がプロ野球選手になることを信じ楽しみに、今後も夢を見ながら育てていこうと話しています。

将来「原島」というプロ野球選手を見かけた際には、応援してあげて下さいね。笑

鬼は外！ふくわ〜うち



地域ケアサポート課

みなさん、こんにちは。
さて、問題です。10月8日は何の日でしょう？
簡単ですね。そうです、体育の日です。

今月は、保育園、幼稚園、学校、自治会などの運動会が毎週のように行われ、筋肉痛に悩まされた方も多くいたのではないのでしょうか。

10月7日 福わ家でも自治会の運動会に、朝から利用者様と一緒に参加してきました。日焼けするほどよいお天気で、スタッフが「暑いですねー」というと、利用者様が「何か冷たいものが食べたいね」と一言。

お昼のお弁当を食べた後、みんなで歩いてコンビニへ。「これ、美味しそう」「どれにしようか迷っちゃうな」と言いながら、それぞれがアイスを購入し、ホッと一息。パン釣り競争、玉入れ、大玉送りなど一緒に楽しみ、いい汗をながしてきました。

運動会中には、地域の方々にたくさん声をかけて頂き、スタッフが利用者様のそばを離れた時には一緒にいて下さり、助けていただきました。ありがとうございました。来年も参加して、今度こそ白組優勝！



笑う門には福きたる

地域ケアサポート課

皆さまこんにちは。一日の中での寒暖の差が厳しい日が続いており、体調を崩しやすい季節となってきましたがいかがお過ごしでしょうか。

さて、10月の福ら笑ですが、初めての試みとなる日帰り旅行に行ってきました。行き先は神奈川県三浦半島。ご利用者さん9名（GH）、ご家族5名、スタッフ7名の21名で行って来ました。このイベントを行うにあたっては、利用者さんに楽しんで頂くことも必要なのですが、それ以外にも実は、①非日常という環境の中で利用者さんの新たな一面を発見する。②利用者さんと家族の時間を大切にする。と言う目的を持って私たちは旅行と向き合っていました。普段は消極的な方も環境が変わると積極的になる姿や、イルカショーを見ながら人一倍大きな拍手をする方、ご家族と一緒に旅行に行くのは何十年ぶりだったからか妙に照れくさそうにされる方。色々な場面を見る事ができました。

さてさて、来年は一泊旅行に挑戦してみたいですね。ご家族の皆さま、その時はご協力の程よろしくお願いします。



福ら笑に注目！

してみました

福ら笑には現在 20 名のスタッフが在籍しています。その内の半数程は介護の仕事は福ら笑が初めてという方々です。福ら笑に於いては、介護の経験が豊富であるとか介護福祉士等の資格を持っていないと働けないということは無く、「介護の仕事をやってみたい」という気持ちがあれば一緒に働いてもらいたいと考えています。

そんな福ら笑で活躍してくれているスタッフには面白い経歴を持っている人が多いです。

型枠大工から転職した人（私です）、宝石デザイナー、ケーキ職人、元劇団員、大手デパート販売員、ホテルベルガール、歯科衛生士、現役バンドマン…

色々な職種で色々な経験をされてきた人達が集まって福ら笑は成り立っています。当然のように価値観に違いが生まれ、スタッフ同士がぶつかり合う事もあります。ただ、私はそのような場面をみるとわくわくしてしまうんです。きっとそれはスタッフが利用者さんのことを真剣に考えたからこそ起こる衝突だからなのだと思います。

まだまだ福ら笑は成長途中ではありますが、これからもよろしくお願い致します。



HCR(国際福祉用具展示会)訪問

日本初の福祉機器の国際展示会である H.C.R.は、いまやアジア最大規模に達しています。

H.C.R. 2018 では、14 か国 1 地域より 560 社を超える企業・団体が数多くの製品を展示します。ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した介護ロボットまでありました。

右の写真は、電動車いすロボットです

“乗る”と“同伴”で高齢者の自立をサポートしてくれます！

福祉機器の今・未来を、
みて、さわって、たしかめる 3 日間でした！

